

dtab **d-01G**

クイックスタートガイド '15.2

詳しい操作説明は、d-01 G に搭載されている
「取扱説明書」アプリ（eトリセツ）をご覧ください。

はじめに

「d-01G」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作説明

本端末の操作は、本書のほかに、本端末用の取扱説明書アプリである「取扱説明書」で、さらに詳しく説明しています。

■「クイックスタートガイド」(本書)

本端末の基本的な操作や画面の表示内容について説明しています。

■「取扱説明書」(本端末のアプリ)

本端末の機能や操作、画面表示などについて、詳しく説明しています。ホーム画面で→「アプリ」タブ→「取扱説明書」をタップすると起動できます。

- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従って、アプリのダウンロードとインストールを行う必要があります。
- 「取扱説明書」アプリを削除した場合、再度インストールするには、ホーム画面で「Playストア」→本端末の「取扱説明書」アプリを検索してダウンロードしてください。

■「取扱説明書」(PDFファイル)

本端末の機能や操作、画面表示などについて、詳しく説明しています。

以下のドコモのホームページよりダウンロードできます。

<https://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html>

※「クイックスタートガイド」の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

操作手順の表記について

本書では、メニュー操作など続けて行う操作手順を簡略化して次のように表記しています。

＜例：ホーム画面に表示されているアイコンを操作し、アプリ一覧からカメラ機能を起動する操作手順＞

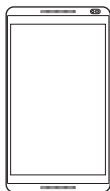
1 ホーム画面で→「アプリ」タブ→「カメラ」

■ お知らせ

- 本書の本文中においては、「d-01G」を「本端末」と表記させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 本書の操作手順や画面表示は、主に本端末のお買い上げ時の状態に基づいて記載しています。アプリやサービスなどを追加／変更した場合は、操作手順や画面表示が異なる場合があります。
- 本書に掲載している画面やイラストはイメージです。実際の製品や画面とは異なる場合があります。
- 本書は、ホームアプリがdocomo LIVE UXの場合で説明しています。
- 本書では、操作方法が複数ある機能や設定については、操作手順がわかりやすい方法で説明しています。
- 本書で説明しているアカウントの登録方法やアプリの操作方法などは、登録先の都合やアプリのアップデートなどにより、事前の通知なく変更される場合があります。
- 本書の内容やホームページのURL、および記載内容は、将来、予告なしに変更する場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。

本体付属品

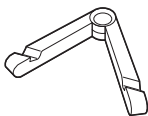
■ d-01G本体 (保証書付き)



■ クイックスタート ガイド (本書)



■ 自立スタンド (試供品)



- 本端末に対応するオプション品（別売）は、ドコモのホームページをご覧ください。
<https://www.nttdocomo.co.jp/product/option/>

目次

本体付属品	2
本端末のご利用について	4
安全上のご注意（必ずお守りください）	6
取り扱い上のご注意	16

ご使用前の 確認と設定 P.22	各部の名称と機能	22
	ドコモminiUIMカード	24
	充電	27
	電源を入れる／切る	28
	自立スタンド	29
	基本操作	30
	初期設定	35
付録 P.37	microSDカード	37
	トラブルシューティング（FAQ）	40
	端末初期化	44
	保証とアフターサービス	45
	ソフトウェア更新	48
	Androidバージョンアップ	52
	データ通信端末の比吸収率（SAR）	54
	Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Terminals	55
	FCC Regulatory Compliance	57
	Disposal and Recycling Information	59
	Reduction of Hazardous Substances	59
	EU Regulatory Conformance	60
	輸出管理規制について	61
	知的財産権について	62
	SIMロック解除	64
	索引	67

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は、iモードのサイト（番組）への接続やiアプリなどには対応していません。
- 本端末は音声通話およびデジタル通信（テレビ電話、64Kデータ通信）には対応していません。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、定期的にメモをとったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してくださるようお願いいたします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリなどによっては、動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され、不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上、ご利用ください。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケットバック／パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。

- マナーモードを設定している場合でも、カメラのシャッター音や撮影開始音／終了音、アラーム音はスピーカーから鳴りますので、ご注意ください。
- お客様の電話番号（自局電話番号）は次の手順で確認できます。
ホーム画面で→「アプリ」タブ→「設定」→「タブレット情報」→「端末の状態」
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。→P.48
- 端末の品質改善に対応したアップデートや、オペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。バージョンアップ後に、古いバージョンで使用していたアプリが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 紛失に備え、画面ロックを設定し、本端末のセキュリティを確保してください。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスや、SNSなどのサービスを他人に利用されないように、パソコンから各種アカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- テザリングのご利用には、パケットパック／パケット定額サービスの加入を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- microSDカードや端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 市販のオプション品については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れた手で扱禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1.本端末、アダプタ、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）.....	7
2.本端末の取り扱いについて.....	9
3.アダプタの取り扱いについて.....	12
4.ドコモminiUIMカードの取り扱いについて.....	14
5.医用電気機器近くでの取り扱いについて.....	14
6.材質一覧.....	15

1.本端末、アダプタ、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険



禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。



禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。



分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。



水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿、汗などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子、イヤホン端子に液体（水や飲料水、ペットの尿、汗など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。



指示

本端末に使用するオプション品は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告



禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子、イヤホン端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。



指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。
- 本端末の電源を切る。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

注意



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。



指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けが、感電の原因となります。



指示

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらゲームなどを長時間行くと、本端末やアダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2.本端末の取り扱いについて

■ 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオンポリマー電池

⚠ 危険



禁止

火の中に投下したり、熱を加えたりしないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりする
など過度な力を加えないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。



指示

内蔵電池内部の液体などが目の中に入ったときは、こす
らず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療
を受けてください。
失明の原因となります。

⚠ 警告



禁止

本端末内のドコモminiUIMカードスロットやmicroSD
カードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいも
のなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機
内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の
指示に従ってください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令
により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってくだ
さい。
使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってく
ださい。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

通知音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、バイブ（振動）や通知音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意ください電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズは、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。



指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

⚠ 注意



禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。



禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診療を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸などで洗い流してください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質について→P.15「6.材質一覧」



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。



指示

内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

3.アダプタの取り扱いについて

⚠ 警告



禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。



禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部に触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



禁止

本端末にアダプタを接続した状態で、上下左右に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。



濡れ禁止

濡れた手でアダプタのコードや充電端子、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタ：AC100V

DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）



指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。



指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。



指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。



指示

本端末にアダプタを抜き差しする場合は、無理な力を加えず、水平に真っ直ぐ抜き差ししてください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。



電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。



電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

注意



禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態でアダプタに長時間触れないでください。

やけどなどの原因となります。

4. ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意



指示

ドコモminiUIMカードを取り扱う際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

5. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠ 警告



指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づく恐れがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源オフなど）。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

6.材質一覧

使用箇所	材質・表面処理
ディスプレイ／前面部	ガラス、シルク印刷
外装ケース（前面枠部分）	PC+10%GF/コーティング
外装ケース（裏面上部）	PC/コーティング
外装ケース（裏面中央部）	アルミニウム5052
外装ケース（裏面下部）	PC/コーティング
外装ケース（側面）	PC+20%GF/コーティング
電源キー、音量上／下キー	アルミ合金+TPU、サンドブラスト、アルマイト処理
スロットカバー	PC/コーティング
カードスロット	ステンレススチール・ニッケルメッキ、銅合金・金メッキ、銅合金・錫メッキ
イヤホン端子	LCP、PPS、銅合金・金メッキ
外部接続端子	ステンレススチール・錫メッキ、銅合金・金メッキ
前面カメラ	ガラス、シルク印刷
背面カメラ	ガラス、シルク印刷

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ 水をかけないでください。

本端末、アダプタ、ドコモminiUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ 本端末などに無理な力がかからないように使用してください。

多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの破損、故障の原因となります。

また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホン端子に差した状態の場合、破損、故障の原因となります。

■ ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。

傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。

■ 対応の各オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

本端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は35%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障、破損の原因となります。
- **外部接続端子やイヤホン端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。
- **スロットカバーを外したまま使用しないでください。**
ドコモminiUIMカードやmicroSDカードが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- **内蔵電池は消耗品です。**
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 本端末を保管される場合は、次の点にご注意ください。
 - ・フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
 - ・電池残量なしの状態（本端末の電源が入らない程消費している状態）での保管
 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
 保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40%程度の状態をおすすめします。

アダプタについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - ・湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

ドコモminiUIMカードについてのお願い

- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- お客様で自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- 環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、次のとおりです。

2.4FH1/DS4/OF4

- 2.4 : 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
- FH1 : 変調方式がFH-SS方式であること、および想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
- DS4/OF4 : 変調方式がDS-SS方式、OFDM方式であること、および想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

■■■■： 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

- ・ 利用可能なチャネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
- ・ 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN (WLAN) についてのごお願い

- 無線LAN (WLAN) は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■ 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
- ・ 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。

3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 本端末の5GHz帯使用上の注意事項

本端末の無線LANは、5GHzの周波数帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されています。

本端末が使用するチャンネルは以下の通りです。

- W52 (5.2GHz帯／36、40、44、48ch)
- W53 (5.3GHz帯／52、56、60、64ch)
- W56 (5.6GHz帯／100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)

注意

■ 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法/電気通信事業法に抵触します。

本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技術マーク㊞」が本端末の電子銘板に表示されています。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。

ホーム画面で→「アプリ」タブ→「設定」→「タブレット情報」→「認証情報」

本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。

技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

■ 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。

運転中に携帯端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

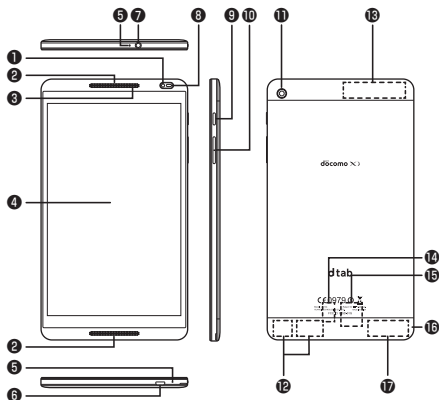
■ 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

■ データ通信中は、本端末を身体から15mm以上離してご使用ください。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



- ① インカメラ
- ② スピーカー
- ③ 通知LED
- ④ ディスプレイ（タッチパネル）
- ⑤ マイク
- ⑥ 外部接続端子
- ⑦ イヤホン端子
- ⑧ 照度センサー※1

・周囲の明るさを感知して、ディスプレイの明るさを調整します。

- ⑨ ：電源キー
- ⑩ ：音量上／下キー

- ⑪ アウトカメラ
- ⑫ Wi-Fi／Bluetooth／GPSアンテナ部^{※2}
- ⑬ Xi／FOMAアンテナ部^{※2}
- ⑭ microSDカードスロット
- ⑮ ドコモminiUIMカードスロット
- ⑯ スロットカバー
- ⑰ Xiアンテナ部^{※2}

※1 センサー部分に保護シートやシールなどを貼ると、センサーが誤動作する場合があります。

※2 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと、通信の品質に影響を及ぼす場合があります。

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードとは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードのことです。

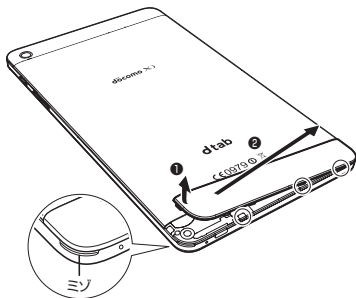
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、ドコモnanoUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードが本端末に取り付けられていないと、パケット通信などの機能を利用することができません。
- ドコモminiUIMカードについて詳しくは、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外し

ドコモminiUIMカードを取り付け／取り外すときは、必ず本端末の電源を切ってから行ってください。

取り付けかた

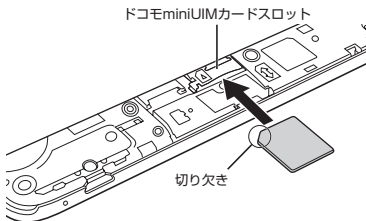
- 1 スロットカバーのミゾに指先をかけて、ゆっくりと矢印①の方向に少し持ち上げる



- 2 ツメ部分（○囲みの3箇所）に指先を入れ、少し上に持ち上げて矢印②の方向にスロットカバーを取り外す

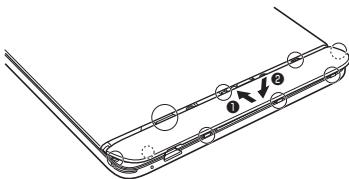
3 ドコモminiUIMカードの金属端子面を下にして、カチッと音がするまでゆっくり差し込む

- 切り欠きの方向にご注意ください。



4 スロットカバーを矢印の順(①、②)に閉じる

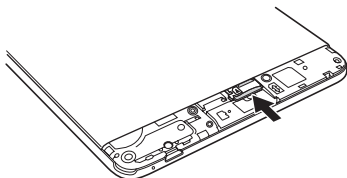
- ツメ(○囲みの9箇所)をカチッと音がするまで本体側の溝にはめ込みます。本体とスロットカバーとの間にすきまがないことを確認してください。



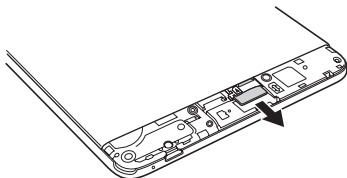
取り外しかた

1 スロットカバーを開く (P.24)

- 2 ドコモminiUIMカードを矢印の方向に軽く押し込む
ドコモminiUIMカードが少し飛び出します。



- 3 ドコモminiUIMカードを引き出して取り出す



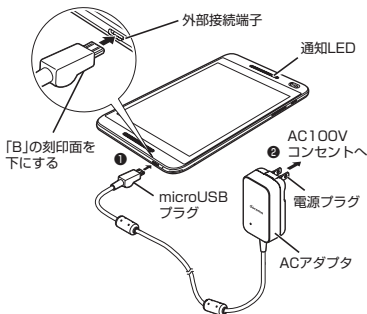
- 4 スロットカバーを閉じる (P.25)

■ お知らせ

- ドコモminiUIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、ドコモminiUIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、ドコモminiUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。

ACアダプタを使って充電する

ACアダプタ 05（別売品）を使用して充電する方法を説明します。



- 1 本端末の外部接続端子にACアダプタのmicroUSBプラグを「B」の刻印面を下にして水平に差し込む (①)
- 2 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む (②)
本端末の通知LEDが点灯します。
- 3 充電が完了したら、コンセントからACアダプタの電源プラグを抜く
- 4 本端末の外部接続端子からACアダプタのmicroUSBプラグを水平に抜く

パソコンを使って充電する

microUSB接続ケーブル 01（別売品）などを使って、本端末をパソコンから充電することができます。

- パソコン上にハードウェアの検索画面や実行する動作の選択画面などが表示されたら、[キャンセル] を選択してください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 （電源キー）を2秒以上押す

- はじめて電源を入れたときは、初期設定を行います（P.35）。

2 画面ロックを解除する

お買い上げ時は、画面ロックが「タッチ」に設定されています。解除するにはロック画面でをタップします。

■ お知らせ

- 電源を入れてからホーム画面が表示されるまでに、1分以上かかる場合があります。
 - 画面ロックを「タッチ」に設定している場合、ロック画面で通知パネルを表示できます。
-

電源を切る

1 （電源キー）を1秒以上押す

2 「電源を切る」→「OK」

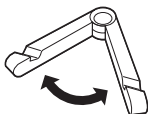
自立スタンド

自立スタンド（試供品）に本端末を立てて利用することができます。

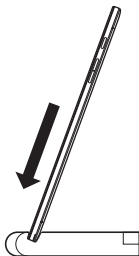
- 自立スタンドは平らな場所に設置してご利用ください。

1 自立スタンドの足部分を左右に開く

- 止まるところまで完全に開いてください。



2 自立スタンドを押さえながら本端末を自立スタンドの溝に差し込む



■ お知らせ

- 自立スタンドの開閉時に、指やmicroUSB接続ケーブルをはさまないようにご注意ください。
- 本端末を自立スタンドに立てた状態で操作する場合、強い力でタップなどの操作を行うと、自立スタンドおよび本端末が倒れる恐れがありますので、ご注意ください。

基本操作

タッチパネルの使いかた

本端末のディスプレイは、指で直接触れて操作するタッチパネルとなっています。タッチパネルは、触れかたによってさまざまな操作ができます。

タッチパネル利用上のご注意

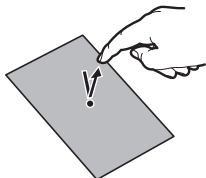
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼った操作

■ お知らせ

- 確認画面などポップアップの表示中に、確認画面やステータスバー以外をタップすると、操作が中止されることがあります。

■ タップ／ダブルタップ

項目やアイコンに軽く触れて指を離します。2回続けて同じ位置をタップする操作を、ダブルタップと呼びます。



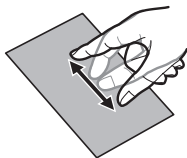
■ フリック

ディスプレイを指ですばやくはらうように操作します。



■ ピンチ

ディスプレイに2本の指で触れたまま、その指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。画像などを拡大／縮小するときに使用します。



■ スライド（スワイプ）

ディスプレイに軽く触れたまま、目的の方向になぞります。

■ ドラッグ

アイコンなどに軽く触れたまま、目的の位置までなぞります。

■ ロングタッチ

メニューが表示されるなど、目的の動作が起こるまでアイコンやキーなどに長く触れます。

設定を切り替える

設定項目にチェックボックスなどが表示されているときは、タップすることで設定のON／OFFや有効／無効を切り替えることができます。

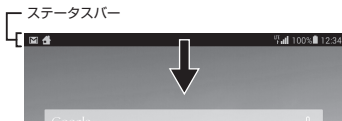
- はON、○はOFFの状態です。
- ☑は有効、○は無効の状態です。

ディスプレイの表示方向の自動切替を設定する

本端末の向きや傾きを感知して、ディスプレイの表示方向が自動的に縦／横に切り替わるように設定できます。

1 通知パネルを表示する

- ステータスバーを下方方向にスライドすると通知パネルが表示されます。



2 「自動回転」をタップ

- 通知パネルに「自動回転」が表示されていないときは▼をタップしてください。
- 設定がONになると🔄（水色）になります。タップするたびにON／OFFが切り替わります。

■ お知らせ

- 機能やアプリによっては、表示方向が自動的に切り替わらない場合があります。

画面表示を画像として保存する

ディスプレイの画面表示の内容を画像として保存することができます（スクリーンショット）。

1 スクリーンショットを保存したい画面で○（電源キー）と○（音量下キー）を同時に1秒以上押す

- スクリーンショットが保存され、ステータスバーに📸が表示されます。通知パネルを開いて通知をタップすると、保存した画像を表示できます。

■ お知らせ

- 機能やアプリによっては、スクリーンショットが保存できない場合があります。

文字を入力する

文字を入力するときは、画面に表示されるキーボードを利用します。

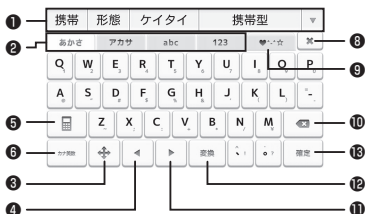
ここでは、「FSKAREN for dtab」で文字を入力する方法について説明します。

FSKAREN for dtabでは、10キー、QWERTY、50音などのキーボードを利用できます。

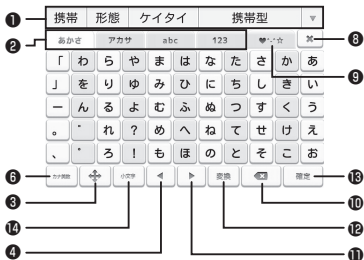
- 10キー：複数の文字が各キーに割り当てられています。フリックして文字を入力するフリック入力、目的の文字が表示されるまでキーを繰り返しタップするトグル入力、2タッチ入力の3種類から選択できます。
- QWERTY：パソコンのキーボードと同様のキー配列で、日本語を入力するにはローマ字で入力します。
- 50音：50音のキーをタップして入力します。



10 キー



QWERTY



50音

- ① 変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
- ② 文字入力モードを切り替えます。
- ③ カーソル画面を表示します。
 - ・カーソルを移動したり、文字列の範囲を選択してコピー／切り取り／貼り付けしたりできます。
- ④ 変換範囲を1文字縮小します。
 - ・未確定の文字がないときは、カーソルを左に移動します。
- ⑤ キーボードの種類を切り替えます。
- ⑥ カタカナや英数字に変換します。
 - ・「Menu」と表示されているときは、入力方法の切り替えや、キーボードの各種設定などができます。
- ⑦ 入力中の文字の大文字／小文字を切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。
- ⑧ キーボードを閉じます。
- ⑨ 顔文字／記号一覧を利用します。
- ⑩ カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。
- ⑪ 変換範囲を1文字拡大します。
 - ・未確定の文字がないときは、カーソルを右に移動します。
- ⑫ 変換を行います。
 - ・と表示されているときは、スペースを入力します。
- ⑬ 入力中の文字を確定します。
 - ・と表示されているときは、改行します。
- ⑭ 小文字／大文字を切り替えます。

初期設定

はじめて電源を入れたときは画面の指示に従って、言語、Wi-Fi、Googleアカウント、ドコモサービスの初期設定を行います。

1 「日本語」になっていることを確認して▶をタップ

- ### 2 Wi-Fi設定画面で接続するアクセスポイントをタップ
- セキュリティで保護されているアクセスポイントに接続する場合は、パスワードを入力し、「接続」をタップします。
- Wi-Fiは、後から設定することもできます。

3 Googleアカウントを設定

画面の指示に従ってGoogleアカウントを設定してください。

- Googleアカウントを設定することで、GmailやGoogle PlayなどGoogle提供のオンラインサービスを利用できるようになります。

4 ドコモサービスの初期設定画面で「すべてのリンク先の内容に同意する」にチェックを付ける→「設定をはじめる」

- 画面の指示に従って、以下のドコモサービスの設定を行います。
 - docomo ID
 - ドコモクラウド
 - ドコモアプリパスワード
 - ドコモ位置情報
 - 遠隔初期化*
 - アプリ一括インストール

※ ドコモアプリパスワードを設定していない場合は表示されません。

5 「使いはじめる」

- 操作ガイドが表示されたら、内容を確認して「以後表示しない」または「OK」をタップします。

■ お知らせ

- ドコモサービスの設定は、「ドコモのサービス/クラウド」で変更することができます。

Wi-Fiを設定する

- 1 ホーム画面で→「アプリ」タブ→「設定」
- 2 「Wi-Fi」
Wi-Fi設定画面が表示されます。
- 3 「Wi-Fi」の (OFF) をタップして (ON) にする
利用可能なアクセスポイントが自動的に検出され、一覧表示されます。
- 4 接続するアクセスポイントをタップ
セキュリティで保護されているアクセスポイントに接続する場合は、パスワードを入力し、「接続」をタップします。

Eメールアカウントを設定する

一般のプロバイダが提供するPOP3やIMAPに対応したEメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。

- 1 ホーム画面で→「アプリ」タブ→「メール」
- 2 アカウントの種類をタップ
- 3 各項目を入力→「次へ」
 - Eメールを手動で設定する場合は、「手動セットアップ」をタップし、表示される画面に従って設定してください。
- 4 アカウントのオプションを設定→「次へ」
- 5 アカウント名を入力→「完了」
 - アカウントによっては、「あなたの名前」も入力してください。

Googleアカウントの設定

Googleアカウントを設定することで、GmailやGoogle PlayなどGoogle提供のオンラインサービスを利用できるようになります。

- 1 ホーム画面で→「アプリ」タブ→「設定」
- 2 「アカウントを追加」→「Google」
以降の操作については、画面の指示に従ってください。

microSDカード

microSDカードを使用すると、本端末のデータを保存したり、microSDカード内のデータを本端末に取り込んだりすることができます。

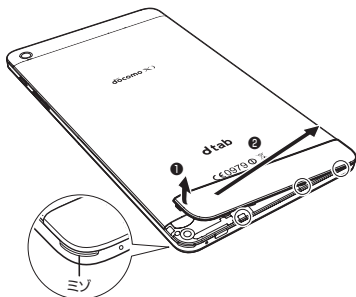
- 本端末は2GBまでのmicroSDカード、および32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2015年1月現在）。ただし、市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。各microSDカードの本端末への対応状況については、microSDカードのメーカーへお問い合わせください。
- microSDカードのスピードクラスは、最大クラス10に対応しています。
- microSDカードのUHSスピードクラスは、クラス1に対応しています。

microSDカードの取り付け／取り外し

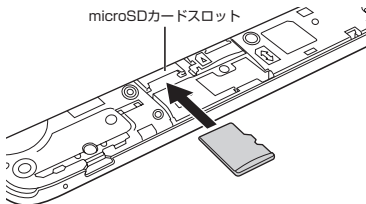
取り付け／取り外しは、マウントを解除するか電源を切ってから行ってください。

取り付けかた

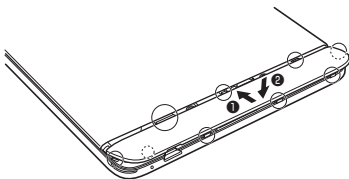
- 1 スロットカバーのミゾに指先をかけて、ゆっくりと矢印①の方向に少し持ち上げる



- 2 ツメ部分（○囲みの3箇所）に指先を入れ、少し上に持ち上げて矢印②の方向にスロットカバーを取り外す
- 3 microSDカードの金属端子面を下にして、ゆっくり差し込む
 - microSDカードが完全に取り付けられていることを確認してください。



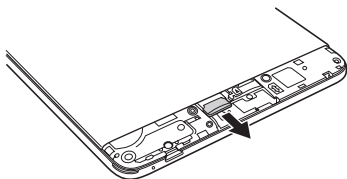
- 4 スロットカバーを矢印の順（①、②）に閉じる
 - ツメ（○囲みの9箇所）をカチッと音がするまで本体側の溝にはめ込みます。本体とスロットカバーとの間にすきまがないことを確認してください。



取り外しかた

- 1 スロットカバーを開く（P.37）

2 microSDカードを引き出して取り出す



3 スロットカバーを閉じる (P38)

トラブルシューティング (FAQ)

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください (P.48)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

症状	チェックする箇所
本端末の電源が入らない	• 電池切れになっていませんか。本端末を充電してください (P.27)。
画面が動かない、電源が切れない	• 画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に本端末を強制的に再起動することができます。 ⏏ (電源キー) を10秒以上押すと、本端末を強制的に再起動します。 ※強制的に電源を切る操作のため、データおよび設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

症状	チェックする箇所
充電ができない (通知LEDが点灯しない、ステータスバーに充電中を示すアイコンが表示されない)	• アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていませんか (P.27)。 • アダプタと本端末がしっかりと接続されていますか (P.27)。 • 充電しながら通信やその他機能の操作を長時間行くと、本端末の温度が上昇して充電が完了できない場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■ 端末操作

症状	チェックする箇所
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また充電しながらアプリなどを長時間使用した場合などには、本端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回の充電で使用できる時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
タッチパネルをタップしたり、ボタンを押しても動作しない	• スリープモードになっていませんか。 ⏻（電源キー）を押してスリープモードを解除してください。 • 本端末を強制的に再起動してください。 ⏻（電源キー）を10秒以上押すと、強制的に再起動します。
ドコモminiUIMカードが認識されない	• ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか（P.24）。
時計の時刻がずれる	• 長期間、電源を入れた状態にしていると、時計の時刻がずれる場合があります。「日付と時刻」の「日付と時刻の自動設定」にチェックが付いていることを確認して、電波状態のよい場所で電源を入れ直してください。

症状	チェックする箇所
端末動作が不安定	• ご購入後に端末へインストールしたアプリが原因の可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 • セーフモードの起動方法 1. 本端末の電源を切る 2. 電源を切った状態で（電源キー）を2秒以上押し、「NTT docomo」ロゴが表示されたら、本端末が起動するまで（音量下キー）を押し続ける ※セーフモードが起動するとホーム画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。 ※セーフモードを終了するには、電源を一度OFFにして、起動し直してください。 • 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 • お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 • セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了してからご利用ください。

エラーメッセージ

エラー メッセージ	説明／対処方法
SIMネットワークのロック解除PIN。	他事業者のSIMカードが挿入された場合に表示されます。
しばらくお待ちください（データサービス）。	回線へのアクセス集中などの原因により、データ通信サービスを利用しにくい場合に表示されます。
通信サービスなし	- サービスエリア外か、電波の届かない場所にいるため利用できません。電波の届く場所まで移動してください。 - ドコモminiUIMカードが正しく機能していません。 ドコモminiUIMカードを別の端末に挿入してください。機能するのであれば、問題の原因は本端末にあると考えられます。この場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。ドコモminiUIMカードを取り付け直すことで改善する可能性があります。
モバイルネットワークが利用できません	ドコモminiUIMカードを正しく取り付けて、電波の届く場所まで移動してください。
アクセス制限が変更されました	音声サービスやデータサービスが受けられない場合に表示されます。
SIMカードはロックされています	PINコードを正しく入力してください。
SIMカードはPUKでロックされています	PUK（PINロック解除コード）を正しく入力してください。
SIMカードは使用できません	PINロック解除コードがロックされています。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
空き容量低下	microSDカードの空き容量がありません。不要なデータを削除して容量を確保してください。

端末初期化

本端末を初期化して、お買い上げ時の状態に戻します。

- 1 ホーム画面で→「アプリ」タブ→「設定」→「バックアップとリセット」→「データの初期化」
 - 内部ストレージ内のすべてのデータ（音楽、写真など）を消去したい場合は、「内部ストレージの消去」にチェックを付けます。
- 2 「タブレットをリセット」→「タブレットをリセット」

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって連絡先などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、連絡先などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。
 - ※ 本端末は、連絡先データをmicroSDカードに保存していただくことができます。
 - ※ 自立スタンド(試供品)は無料修理保証の対象外となります。
 - ※ 本端末はドコモクラウドをご利用いただくことにより、連絡先などのデータをバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな?と思ったら」(P.40)をご覧ください。それでも調子がよくないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（外部接続端子(イヤホン端子)・液晶などの破損)による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホン端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります。）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、裏表紙の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
 - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る。
 - 接着剤などにより本端末に装飾を施す。
 - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど。

- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手順をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の以下の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
使用箇所：スピーカー、マイク
- 本端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイアル(電話帳機能)およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新について

d-01Gのソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。

ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページにてご案内いたします。

■ お知らせ

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した連絡先、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

ソフトウェア更新のご利用にあたって

- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。更新時は充電ケーブルを接続する事をおすすめします。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。
 - 圏外が表示されているとき
 - 国際ローミング中
 - 機内モード中
 - Androidバージョンアップ中
 - 日付と時刻を正しく設定していないとき
 - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
 - ソフトウェア更新に必要なメモリ空き容量がないとき
 - 基本ソフトウェアを不正に変更しているとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、他の機能を利用できません。
- ソフトウェア更新は電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。
- ソフトウェア更新が不要な場合は、「更新の必要はありません。このままお使いください」と表示されます。
- 国際ローミング中、もしくは、圏外にいるときには、「ローミング中、もしくは圏外時は更新できません」と表示されます。Wi-Fi接続中も同様です。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のd-01G固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合に、端末が起動しなくなることや、更新に失敗した旨のメッセージが表示され、一切の操作ができなくなることがあります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただけますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリを起動しないでください。

ソフトウェアを更新する

サーバーに新しいソフトウェアがある場合は、ステータスバーにが表示されます。

- 1 通知パネルを開く→該当するソフトウェアをタップ
- 2 画面の指示に従ってダウンロードする
- 3 ダウンロードが完了したら「インストール」

ソフトウェア更新の自動通知設定

お買い上げ時は、利用できる更新があるときは自動通知する設定となっています。

この設定は変更することができます。

- 1 ホーム画面で→「アプリ」タブ
- 2 「設定」→「最新情報」→「システムアップデート」
 - ・「システム更新」からも更新できます。
- 3 →「自動通知」をタップし、（有効）／（無効）を切り替え

手動でソフトウェアを確認／更新する

新しいソフトウェアがあるかどうかを手動で確認します。

- 1 ホーム画面で→「アプリ」タブ
- 2 「設定」→「最新情報」→「システムアップデート」
 - ・「システム更新」からも更新できます。
- 3 「オンライン更新」
アップデートの確認中画面が表示されます。
 - ・サーバーに新しいソフトウェアがない場合は、アップデートはない旨のメッセージが表示されます。
 - ・「ローカルで更新」はご利用いただけません。
- 4 画面の指示に従ってダウンロードする
- 5 ダウンロードが完了したら「インストール」

■ お知らせ

- ソフトウェア更新実施時にステータスバーに「ソフトウェア更新を中断しました。本体メモリの空き容量を確認のうえ、再度更新を行ってください」と表示された場合には、本端末の内部ストレージの空き容量を確認したうえで、再度ソフトウェア更新を行ってください。
 - ソフトウェア更新実行時に、ステータスバーに「ソフトウェア更新を中断しました。端末の状態をご確認のうえ、再度更新を行ってください」と表示された場合は、以下の状態でない事をご確認のうえ、再度更新を行ってください。
 - アクセスポイントに接続されていない
 - 電池残量が不足している
 - 他の機能を起動している
-

Androidバージョンアップ

Androidバージョンアップについて

本端末のAndroidバージョンアップが必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、Androidバージョンを更新する機能です。

Androidバージョンアップが必要な場合には、ステータスバーの🌐（Androidバージョンアップ）やドコモのホームページにてご案内いたします。

■ お知らせ

- Androidバージョンアップは、本端末に保存されたデータを残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。

■ 注意事項

- バージョンアップを行うと、以前のAndroidバージョンへ戻すことはできません。
- 本端末の電池残量がフル充電の状態で行なってください。
- バージョンアップ中は電源を切らないでください。

Androidバージョンを更新する

新しいバージョンがある場合は、ステータスバーに🌐が表示されます。

- 1 通知パネルを開く→該当するソフトウェアをタップ
- 2 画面の指示に従ってダウンロードする
- 3 ダウンロードが完了したら「インストール」

手動でバージョンアップを確認／更新する

- 1 ホーム画面で→「アプリ」タブ
- 2 「設定」→「最新情報」→「システムアップデート」
 - ・「システム更新」からも更新できます。
- 3 「オンライン更新」
アップデートの確認中画面が表示されます。
 - ・サーバーに新しいソフトウェアがない場合は、アップデートはない旨のメッセージが表示されます。
 - ・「ローカルで更新」はご利用いただけません。
- 4 「ダウンロードおよびインストール」
 - ・本端末へインストールできるようになります。
- 5 「後で確認」／「インストール」
システム更新の確認画面が表示されます。
 - ・更新は、お客様の端末の状態によっては一部設定情報の保護ができない場合があります。

アプリのアップデート

通知アイコンから

バージョンアップ完了後、再起動し、通知アイコン（バージョンアップが完了しました）が表示されます。

- 1 通知パネルを開く→「システムの更新に成功」をタップ
更新の詳細と現行バージョンが確認できます。

Playストアから

- 1 ホーム画面で「Playストア」→「Playストア」→「マイアプリ」
各アプリの更新確認を行ってください。

■ お知らせ

- ・アプリに更新がある場合、アプリ更新を行わないと動作が不安定になったり、機能が正常に動作しなくなったりする場合があります。

データ通信端末の比吸収率（SAR）

この機種d-01Gは、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^{*1}ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するように設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、本データ通信端末に対するSARの許容値は2.0W/kgです。取扱説明書に記述する通常使用の場合、このデータ通信端末のSARの最大値は0.4101W/kg^{*2}です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。データ通信端末は、携帯電話等基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、データ通信端末の出力は小さくなります。通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/index02.html>

ドコモのホームページ

<https://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/>

【ファーウェイジャパン】のホームページ

<http://consumer.huawei.com/jp/tablets/support/information/d-01g-jp.htm>

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 Xi/FOMAと同時に使用可能な無線機能を含みます。

Specific Absorption Rate (SAR) of Mobile Terminals

This model d-01G device complies with Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.

This device was designed in observance of Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves^{*1} and limits to exposure to radio waves recommended by a set of equivalent international guidelines. This set of international guidelines was set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health condition.

The technical regulations and international guidelines set out limits for radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile terminals is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this device when tested for intended use described in the instruction manual is 0.4101 W/kg^{*2}. There may be slight differences between the SAR levels for each product, but they all satisfy the limit.

The actual SAR of this device while operating can be well below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum required to reach the network. Therefore in general, the closer you are to a base station, the lower the power output of the device.

During communication, please keep the device farther than 1.5 cm away from your body without including any metals. This device satisfies the technical regulations and international guidelines.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the WHO website if you would like more detailed information.

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_english.htm

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

Ministry of Internal Affairs and Communications Website:

<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>

Association of Radio Industries and Businesses Website:

<http://www.arib-emf.org/index02.html>(in Japanese only)

NTT DOCOMO, INC. Website:

<https://www.nttdocomo.co.jp/english/product/sar/>

[HUAWEI TECHNOLOGIES,JAPAN] Website:

<http://consumer.huawei.com/jp/tablets/support/information/d-01g-jp.htm>

*1 Technical regulations are defined by the Ministerial Ordinance Related to Radio Law (Article 14-2 of Radio Equipment Regulations).

*2 Including other radio systems that can be simultaneously used with Xi/FOMA.

FCC Regulatory Compliance

Body worn operation

The device complies with RF specifications when used at a distance of 0 cm from your body. Ensure that the device accessories, such as a device case and device holster, are not composed of metal components. Keep the device away from your body to meet the distance requirement.

Certification information (SAR)

This device is also designed to meet the requirements for exposure to radio waves established by the Federal Communications Commission (USA).

The SAR limit adopted by the USA is 1.6 W/kg averaged over one gram of tissue. The highest SAR value reported to the FCC for this device type complies with this limit.

The highest SAR value reported to the FCC for this device type when using in portable exposure conditions is 1.246 W/kg.

Not including other radio systems that can be simultaneously used with Xi/FOMA/GSM/GPRS.

FCC ID: QISD-01G

FCC statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference

by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.

Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Caution: Any changes or modifications to this device not expressly approved by Huawei Technologies Co., Ltd. for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Disposal and Recycling Information



This symbol (with or without a solid bar) on the device, batteries (if included), and/or the packaging, indicates that the device and its electrical accessories (for example, a headset, adapter, or cable) and batteries should not be disposed of as household garbage. These items should not be disposed of as unsorted municipal waste and should be taken to a certified collection point for recycling or proper disposal.

For more detailed information about device or battery recycling, contact your local city office, household waste disposal service, or retail store.

Disposal of the device and batteries (if included) is subject to WEEE Directive Recast (Directive 2012/19/EU) and Battery Directive (Directive 2006/66/EC). The purpose of separating WEEE and batteries from other waste is to minimize the potential environmental impacts and human health risk of any hazardous substances that may be present.

Reduction of Hazardous Substances

This device is compliant with the REACH Regulation [Regulation (EC) No 1907/2006] and RoHS Directive Recast (Directive 2011/65/EU). Batteries (if included) are compliant with the Battery Directive (Directive 2006/66/EC). For up-to-date information about REACH and RoHS compliance, please visit the web site <http://consumer.huawei.com/certification>.

EU Regulatory Conformance

Body worn operation

The device complies with RF specifications when used at a distance of 1.5 cm from your body. Ensure that the device accessories, such as a device case and device holster, are not composed of metal components. Keep the device away from your body to meet the distance requirement.

Certification information (SAR)

This device meets guidelines for exposure to radio waves. Your device is a low-power radio transmitter and receiver. As recommended by international guidelines, the device is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves. These guidelines were developed by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), an independent scientific organization, and include safety measures designed to ensure the safety of all users, regardless of age and health. The Specific Absorption Rate (SAR) is the unit of measurement for the amount of radio frequency energy absorbed by the body when using a device. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but the actual SAR level during operation can be well below the value. This is because the device is designed to use the minimum power required to reach the network.

The SAR limit adopted by Europe is 2.0 W/kg averaged over 10 grams of tissue, and the highest SAR value for this device complies with this limit.

The highest SAR value reported for this device type when tested in portable exposure conditions is 0.426 W/kg.

Statement

Hereby, Huawei Technologies Co., Ltd. declares that this device is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.

For the declaration of conformity, visit the web site <http://consumer.huawei.com/certification>.

The following marking is included in the product:



This device may be operated in all member states of the EU.

Observe national and local regulations where the device is used.

This device may be restricted for use, depending on the local network.

Restrictions in the 2.4 GHz band:

Norway: This subsection does not apply for the geographical area within a radius of 20 km from the centre of Ny-Ålesund.

輸出管理規制について

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

著作権・肖像権

お客様が本端末を利用して撮影またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

また、お客様が本端末を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標

- 「dメニュー」、「eトリセツ」、「FOMA」、「i アプリ」、「i モード」、「mopera U」、「ビジネスmopera」、「spモード」、「Xi」、「Xi／クロッシィ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。 
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi®はWi-Fi Allianceの登録商標です。 
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「Google マップ」、「Google Calendar」、「Google+」、「Google+ローカル」、「Google+ローカル」ロゴ、「YouTube」、「YouTube」ロゴ、「Picasa」は、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- 「FSKAREN」は、富士ソフト株式会社の登録商標です。

- Microsoft[®]、Windows[®]、Windows Media[®]、Windows Vista[®]、ActiveSync[®]は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- DISCRETIX[™]、DISCRETIX[™] LOGOは  Discretix[™]の登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

Windowsの表記について

本書の本文中においては、各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。

- Windows 8.1は、Microsoft[®] Windows[®] 8.1 Operating System (Pro、Enterprise) の略称です。
- Windows 8は、Microsoft[®] Windows[®] 8 Operating System (Pro、Enterprise) の略称です。
- Windows 7は、Microsoft[®] Windows[®] 7 Starter、Microsoft[®] Windows[®] 7 Home Premium、Microsoft[®] Windows[®] 7 Professional、Microsoft[®] Windows[®] 7 Ultimateの略称です。
- Windows Vistaは、Windows Vista[®] Home Basic、Windows Vista[®] Home Premium、Windows Vista[®] Ultimate、Windows Vista[®] Businessの略称です。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式では、ご利用いただけません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

MEMO

MEMO

あ

アクセスポイント	36
----------------	----

さ

充電	27
初期設定	35
ソフトウェア更新	48

た

タッチパネル	30
電源を入れる／切る	28
ドコモminiUIMカード.....	24
取り付けかた／取り外しかた	24

ま

文字入力	33
------------	----

英数字

ACアダプタ	
充電	27
Eメールアカウント	36
FSKAREN for dtab	33
Googleアカウント	35、36
microSDカード	37
取り付けかた／取り外しかた	37
SAR	54
Wi-Fi	36

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

spモードから dメニュー⇒「お客様サポート」⇒「ドコモオンライン手続きの一覧をみる」(パケット通信料無料)

パソコンから My docomo (<https://www.nttdocomo.co.jp/mydocomo/>) ⇒ ドコモオンライン手続き一覧

※ spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。

※ spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。

※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID/パスワード」が必要となります。

※ 「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID/パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は裏表紙の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。

※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。

※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内や病院では、各航空会社または各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では、電源を切ってください。

■ 運転中の場合

運転中の携帯端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や通知音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、通知音の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

■ カメラ付き携帯端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ サイレントモード

通知音、操作音など本端末から鳴る音を消します。

※ただし、シャッター音は消せません。

海外での紛失、盗難、故障および各種お問い合わせ先
(24時間受付)

■ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話
アクセス番号

-81-3-6832-6600*(無料)

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

■一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用
国際識別番号

-8000120-0151*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号
については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

- 紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
- お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の
故障取扱窓口にご持参ください。



モバイルリサイクルネットワーク
携帯電話やその周辺機器の回収・リサイクルサービス

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を
問わず回収をしていますので、お近くのドコモ
ショップへお持ちください。

※回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、
卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、
回収、リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

受付時間 午前9：00～午後8：00（年中無休）

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

 (局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

受付時間 24時間（年中無休）

■一般電話などからの場合

 **0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

- 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
- 各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ

<https://www.nttdocomo.co.jp/>



マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、
周囲の方への心くばりを忘れずに。



Li-ion 00

販売元 株式会社NTTドコモ

製造元 HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.

'15.2 (1.1版)